

平成 29 年 11 月 28 日  
消 防 庁**「石油コンビナート等における自衛防災組織の技能コンテスト」  
の表彰組織の決定等**

石油コンビナート等における特定事業所においては、火災や爆発等の災害や事故に対応するため、防災要員や消防車両等を備えた自衛防災組織等が置かれています。

この技能コンテストは、平成 26 年度から、防災要員の技能及び士気の向上を図ることを目的として、事業所の保有する消防車両を活用し実施しています。

平成 29 年度の技能コンテストは 43 組織に参加いただき、11 月 13 日に消防庁で審査・表彰委員会を開催し最優秀賞 1 組織（総務大臣賞）、優秀賞 4 組織（総務大臣賞）、奨励賞 15 組織（消防庁長官賞）が決定しました。なお、12 月 6 日に総務大臣賞表彰式を開催します。

**1 最優秀賞受賞組織（1 組織）【総務大臣賞】**

水島コンビナート地区共同防災組織 JX-A 隊 [JXTG エネルギー株式会社水島製油所 A 工場]

**2 優秀賞受賞組織（4 組織）【総務大臣賞】**

あんぜんちよう  
安善 町 共同防災組織

岩国地区陸上共同防災組織 JXTG エネルギー株式会社麻里布製油所自衛防災組織

[JXTG エネルギー株式会社麻里布製油所]

ほっかい  
大阪北港地区共同防災組合

東ソー株式会社南陽事業所自衛防災組織 [東ソー株式会社南陽事業所]

総務大臣賞表彰式は、平成 29 年 12 月 6 日（水）14 時 00 分から、法曹会館 富士の間（千代田区霞が関 1-1-1）で開催します。詳細については、別途ご案内いたします。

**3 奨励賞受賞組織（15 組織）【消防庁長官賞】**

別添 1 のとおり

**※別添一覧**

別添 1：各賞受賞組織及び所在地一覧

別添 2：「石油コンビナート等における自衛防災組織の技能コンテスト」の概要

別添 3：最優秀賞を受賞した水島コンビナート地区共同防災組織 JX-A 隊（岡山県倉敷市）の競技の風景

**（連絡先）**

消防庁特殊災害室 担当：菊地、阿部

TEL 03-5253-7528/FAX 03-5253-7538

# 受賞組織及び所在地一覧

別添 1

## 最優秀賞受賞組織（1 組織）【総務大臣賞】

| 受賞組織名 [事業所名]                                       | 所在地    |
|----------------------------------------------------|--------|
| 水島コンビナート地区共同防災組織 JX-A 隊 [JXTG エネルギー株式会社水島製油所 A 工場] | 岡山県倉敷市 |

## 優秀賞受賞組織（4 組織）【総務大臣賞】

| 受賞組織名 [事業所名]                                                      | 所在地     |
|-------------------------------------------------------------------|---------|
| <small>あんぜんちょう</small><br>安善町共同防災組織                               | 神奈川県横浜市 |
| 岩国地区陸上共同防災組織 JXTG エネルギー株式会社麻里布製油所自衛防災組織<br>[JXTG エネルギー株式会社麻里布製油所] | 山口県和木町  |
| <small>ほっこう</small><br>大阪北港地区共同防災組合                               | 大阪府大阪市  |
| 東ソー株式会社南陽事業所自衛防災組織 [東ソー株式会社南陽事業所]                                 | 山口県周南市  |

※点数が上位の組織から順に記載

奨励賞受賞組織（15 組織） 【消防庁長官賞】

| 受賞組織名〔事業所名〕                                             | 所在地       |
|---------------------------------------------------------|-----------|
| 広野火力発電所自衛防災組織（南双サービス株式会社）〔東京電力フュエル&パワー株式会社広野火力発電所〕      | 福島県広野町    |
| 浮島共同防災協議会（JXTG エネルギー株式会社川崎製油所チーム）                       | 神奈川県川崎市   |
| 関西国際空港航空機給油施設自衛防災組織〔新関西国際空港株式会社〕                        | 大阪府泉佐野市   |
| 三井化学株式会社岩国大竹工場自衛防災組織〔三井化学株式会社岩国大竹工場〕                    | 山口県和木町    |
| 西部石油山口製油所自衛防災組織〔西部石油株式会社山口製油所〕                          | 山口県山陽小野田市 |
| 三井化学株式会社大阪工場自衛防災組織〔三井化学株式会社大阪工場〕                        | 大阪府高石市    |
| 仙台地区共同防災運営協議会                                           | 宮城県仙台市    |
| 株式会社クレハ生産・技術本部いわき事業所自衛防災隊組織〔株式会社クレハ生産・技術本部いわき事業所〕       | 福島県いわき市   |
| 新潟西港地区共同防災協議会                                           | 新潟県新潟市    |
| 富山地区共同防災協議会                                             | 富山県富山市    |
| 秋田国家石油備蓄基地自衛防災組織〔秋田国家石油備蓄基地（秋田石油備蓄株式会社男鹿事業所）〕           | 秋田県男鹿市    |
| 西港・末広共同防災組織                                             | 福岡県北九州市   |
| JFE スチール株式会社西日本製鉄所（福山地区）自衛消防隊〔JFE スチール株式会社西日本製鉄所（福山地区）〕 | 広島県福山市    |
| 福井国家石油備蓄基地自衛防災組織〔福井石油備蓄株式会社福井事業所〕                       | 福井県福井市    |
| 沖縄石油基地株式会社自衛防災組織〔沖縄石油基地株式会社沖縄事業所〕                       | 沖縄県うるま市   |

※点数が上位の組織から順に記載

## 1. 趣旨・目的

石油コンビナート等における特定事業所においては、火災や爆発等の災害や事故に対応するため、防災要員や消防車両等を備えた自衛防災組織等が置かれている。

この技能コンテストは、平成26年度から、防災要員の技能及び士気の向上を図ること目的として、事業所の保有する消防車両を活用し実施。

## 2. コンテストの内容

屋外貯蔵タンクで火災が発生したことを想定した消火活動競技において、消防用機材の確実な操作、安全管理等を審査。

## 3. 参加組織

43組織（平成29年度）

なお、参加組織多数のため、ビデオ審査による予選を実施し、本選に参加する20組織を選抜。

## 4. 実施時期及び場所

津波防災の日（11月5日）を中心とした約1ヶ月程度の間に各事業所内において実技競技（本選）を実施。

## 5. 表彰

優良な自衛防災組織や共同防災組織に総務大臣表彰・消防庁長官表彰を授与。

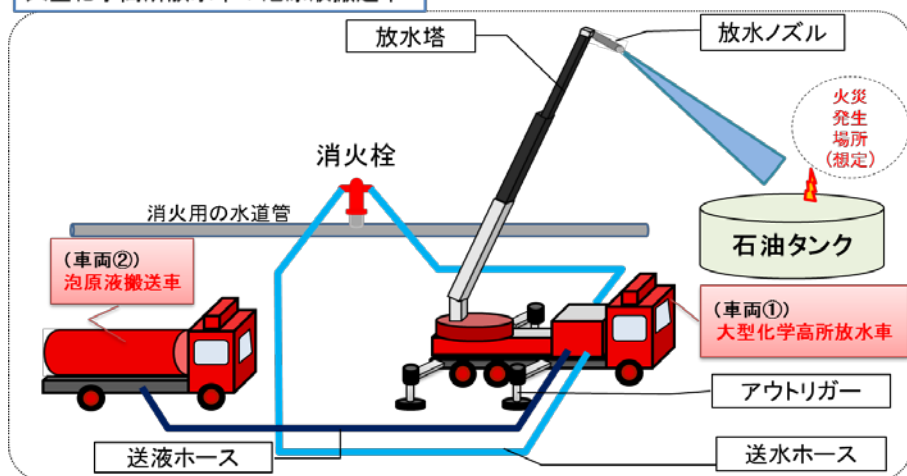
＜技能コンテストの様子＞



## 5. コンテスト競技内容

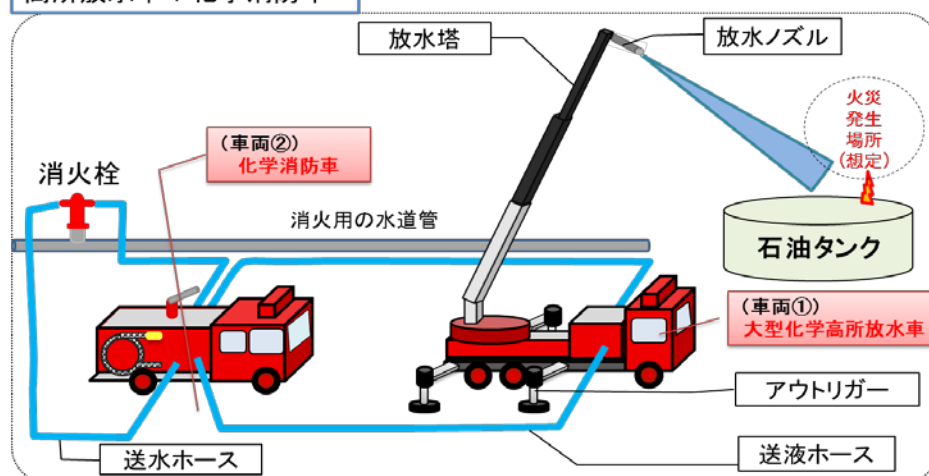
### <放水体形例①>

大型化学高所放水車＋泡原液搬送車



### <放水体形例②>

高所放水車＋化学消防車



放水準備・放水

(1)車両を固定

車両①のアウトリガー(車両支持装置)を設定し、車両を固定

(2)放水塔の設定

車両①の放水塔を伸ばし、屋外貯蔵タンクの上から泡を放出できる高さに設定

(3)泡消火薬剤の  
模擬送液  
または送水

送水側車両②の種別に応じ、泡消火薬剤、もしくは消火用水を送水

(4)放水

車両①で、泡消火薬剤と水を混合し、発泡された泡を放水ノズルから放出  
※競技では泡消火薬剤を送液せず、水のみを送水・放水しています。

## 6. 審査・表彰

11月13日に消防庁長官を委員長とする審査・表彰委員会を開催し、表彰組織を決定

○最優秀賞1組織(総務大臣賞)    ○優秀賞4組織(総務大臣賞)

○奨励賞15組織(消防庁長官賞)



## 最優秀賞を受賞した水島コンビナート地区共同防災組織 JX-A 隊の競技の風景



### ① 競技開始申告

車両前方に整列している 7 名が競技実施隊員、中隊長の競技開始申告。前方の車両が大型化学高所放水車、後方の車両は泡原液搬送車。



### ② 中隊長による下命状況

車を降りた後、車両に白板（マグネット式）を掲示し、中隊長が状況把握した情報を白板に記載し、隊員により具体的な活動を指示している状況。



### ③ 放水準備

泡原液搬送車から大型化学高所放水車へホース延長。



### ④ 放水開始

放水ノズルから放水開始。

- ・ 中隊長を核とし、訓練想定から災害の実態把握の重要性を認識し、実火災をイメージした組織的な消火活動を実施していました。
- ・ 各隊員は、各隊長の指揮のもと、安全管理に配慮し、資機材、車両を正確かつ確実に操作していました。